

第2回 6月24日(土)

テーマ

「ジェンダーって平等ってなんですか」



#男女共同参画ってなんですか代
表の櫻井彩乃さんをお迎えし、ジェ
ンダーにおける日本の現状とジェ
ンダー平等とは何かについてお話し
いただきました。意見交換では、「世界
と日本のジェンダー平等のためにで
きること」をテーマに意見を出し合
い、その上で、「自分たちにできる
こと」について意見交換を行いました。

自分たちにできることは？

- ・ジェンダー表現に気をつける
- ・身近な人の意識を変えていく
- ・選挙に行く
- ・SNSで発信する
- ・ゼミ活動
- ・(ジェンダー平等)ミーティングの
ような活動を周知することが大事
- ・市民団体に参加する
- ・自分が正しいことを学び、周りの人に
話したり、発信したりすることが大事

・(男女共同参画)センターのことを
知らない人が多いと思うので、周
知していくことが大切

- ・起業するか役員になる
- ・子どもの教育を行う
- ・祖父母に伝える
- ・「自分が伝えていく」という意識を
もつ
- ・普段の会話に気をつける
- ・政治家になってジェンダーについ
て深く知ってもらう
- ・考え続けること、仲間を作ること

第3回 7月26日(水)

テーマ

「学校とジェンダー」

センター職員による話題提供の
後、この回は、意見交換の時間を多
く設けました。それぞれのグルー
プで、じっくりと意見を出し合い、考
えを深めました。
夏休みの開催で、前回に引き続き
小学生、高校生の参加もあり、意見
交換・交流を通じて、より多くの視
点をもつことができました。

学校への提言

- ・教科書のイラストにもっと気をつける
- ・制服などの表記など
- ↓男児用・女児用ではなく、子ども
用にするなど
- ・髪型をもっと自由に
- ↓男子が髪の毛が長くてもOK
- ・先生もジェンダーフリーの物を持って
みてみいのは
- ・男性もメイクをしてもいい
- ・名前の呼び方
- ↓「ちゃん」「くん」はやめて、
「さん」で統一
- ・委員会における男女制度をやめる
- ・先生への教育も必要(きちんとした
知識を身に付けてもらう)
- ・特別講師を呼んで授業をしてもらう
- ・今の小中学生にジェンダーをしっか
り教えていくと世の中は変わってい
くのでは
- ・段階に合わせて深めていき、何度も
くり返して指導する
- ・カリキュラムを作る、モデル校を作る
- ・幼稚園、保育園などでのマーク(靴
箱やロッカー)、色分けをなくす

今こそ、性教育について考えよう
子どもたちを守るためにできること



助産師・性教育YouTuber
シオリヌ(大貫詩織)さん

性教育には世界基準があり、か
なり幅広い内容を取り扱うことにな
っているが、日本には、からだ
のしくみを学ぶことが性教育だと
いう概念が根深くある。

性教育を教える方法を学べる場
所もないが、今、求められている
性教育とは、若者が自ら意思決定
をできるための情報提供である。

安心して頼ってもらえる大人で

いるためには、自分のジェンダー
観を見つめなおすことが必要であ
る。ジェンダー観を持っているこ
とは悪いことではないが、それを
他の人に押しつけようとするとき
に問題になる。自分の常識から外
れていても、同じように尊重さ
れ、大切にされるということが前
提である。

安心して頼れる大人であるため
に、使う言葉や姿勢で示すことが
重要であり、性別で決めつけた
り、性別を理由に選択肢を制限し
たりしないことが大切である。ま
た、子どもたちが勇気をもって
言ってくれたことに対して、誠実
に受け取って、反省して、変わっ
ていける大人でありたい。

子どもたち一人ひとりが、自分の人生を自分らしく生きられる
未来のために、今、私たち大人にできることについて、性教育に
関する発信活動を始め、YouTubeチャンネルで動画を投稿
されているシオリヌさんにお話しいただきました。



他にも、たくさんのお話
しいただきました。最後に、子ど
もたちを信用すること、また、親
や教員だけで抱えて、自分だけで
何とかしようとしないうこと、一人
にならずにつながりを大切に
して、みんなでよりよい方策につ
いて考えていくことが重要であると
お話しいただきました。